

うつく もん 美 しの門

《使徒 3章 1～10節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 生まれつき足の動かない男はいつも、どこで、何をしていましたか？

ア. /イ. の文字をただし順 番にならべて、【 】の中に書きましょう！

ア. も・つ・く・し・う・の・ん イ. ほ・こ・ど・し

【ア. 】で【イ. 】を求めていた。

- ② その男はペテロとヨハネにも同じように求めました。その時、ペテロが言った言葉は何だったでしょう？ きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



使徒 3章 6節



- ③ その後、男はどうなりましたか？ ○をつけてね。

★ 物ごいをつづけた ★ おどった ★ ある歩いた
★ 神様を賛美した ★ ジャンプした ★ ある歩けなかった

2. かんがえてみよう！

- ① どうして、男の足は動けるようになったのでしょうか？ ○をつけてね。

▲ ペテロがお金をあげたから。

▲ ペテロには奇跡を起こす力があるから。

▲ イエス様のお名前に奇跡を起こす力があるから。

- ② あなたはどんな心で教会に来ていましたか？ ○をつけてね。

◆ 「お金をもらいたいなあ」 ◆ 「イエス様を礼拝したいなあ」
◆ 「おやつをもらいたいなあ」 ◆ 「イエス様のことを知りたいなあ」
◆ その他 【 】

- ③ どうしたら、あなたのお友だちはイエス様を信じるとおもいますか？ ○をつけてね。

★ お金をあげる ★ ものをあげる ★ イエス様のことを伝える
★ その他 【 】

《お祈りしよう！》

天のおとうさま。お金やものをほしがるのではなくて、まず第1にイエス様のことを求めることができますように。イエス様のお名前がすばらしいことを、たくさんの人に伝えることができるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

すく 救いうる名 《使徒 4章 1～22節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 生まれつき足の動かなかった男が歩いているのを見た多くの人たちが、驚いて集まってきました。ペテロはその時、この人を治したのはだれだと言いましたか？ ○をつけてね。

★ 「私です！」

★ 「ヨハネです！」

★ 「医者です！」

★ 「イエス様です！」

- ② たくさんの人がイエス様を信じたことを嬉しく思わない人たちが、ペテロとヨハネを捕まえた時、ペテロは何と語ったでしょう？ きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 4章 12節



- ③ 「この人」とはだれのことですか？ あいている文字をうめてね。

イ ○ ス ○ ま

- ④ ペテロたちは「イエス様を伝えてはいけません！」と言われた時、どうしたでしょう？

- ◆ 「見たことや聞いたことを話さないわけにはいきません！」と言った。
- ◆ 「イエス様のことを伝えるのをやめます。」と言った。
- ◆ イエス様のことを伝えつづけた。
- ◆ その人たちの言いなりになった。
- ◆ 神様の言われることを守って、行った。

2. かんがえよう！

- ① あなたにとって、一番大切なものは何ですか？

【

- ② あなたに救いを与えてくださったのはだれでしょう？ ○をつけてね。

★ お金

★ 地蔵

★ 友だち

★ 先生

★ 家族

★ 占い師

★ イエス様

★ 医者

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。私を救うことができるのはイエス様だけです。私の心も体も、イエス様によって元気にしてください。また、ペテロのように、神様を一番大切にすることができますように。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

かみ きょうかい 神の教会 《使徒 5章 1～11節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① バルナバ、アナニヤ、サッピラは何をしたのでしょうか？ 線でむすびましょう。
- | | |
|--------|--------------------|
| バルナバ ◆ | ● 売った畑のお金をごまかして献た |
| アナニヤ ◆ | ● 売った畑のお金全部を喜んで献た |
| サッピラ ◆ | ● 売った畑のお金を自分のものにした |
- ② ペテロは、アナニヤがうそをついているのを分かった時、何と言ったでしょう？

使徒 5章 4節

- ③ ごまかしたり、うそをついたりしたアナニヤとサッピラは、その後すぐ、どうなったでしょう？ ○をつけてね。

- ▲ 「ごまかしてごめんなさい」とあやまった。
- ▲ 「うそをついてごめんなさい」とあやまった。
- ▲ 急に息をしなくなり、倒れて死んだ。



2. かんがえよう！

- ① バルナバはどんな心で献金をしたと思いますか？ ○をつけてね。
- ★ 「献金するのはもったいないなあ」
 - ★ 「私が一番多く献金しているのだぞ」
 - ★ 「神様のためならうれしいなあ」
- ② どうして、アナニヤとサッピラは死んでしまったのでしょうか？
- 【 】に入る名前をえらんで○をつけてね。
- 【 人間 / 神様 】をだまそうとして、ゆるされなかったから。
- ③ あなたはうそをついたり、人をだましたことはありますか？ 【 はい / いいえ 】
- ④ あなたが神様にゆるしてもらうには、どうしたらよいか？ あいているところをうめてね。
- ◆ 時間がたてば忘れるので、そのままにしておく。
 - ◆ 正直に、神様に「ごめんなさい」とお祈りする。
 - ◆ イエス様が私の罪のために十字架で死んでくださったことを信じる。

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。うそやごまかしは人間ではなくて、神様をだます恐ろしいことだと知りまし
た。今までうそをついたりしてごめんなさい。イエス様が私の罪の身代わりに、十字架にか
かって死んでくださったことを信じます。これからは神様が見ておられることを思い出して、
うそをついたり、ごまかしたりしないように守ってください。イエス様のお名前によって、お
祈りします。アーメン。

じゅんきょうしゃ

殉教者ステパノ

《使徒^{しと} 7章^{しょう} 51～60節^{せつ}》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ステパノからイエス様のことや、神様からのメッセージを聞いたユダヤの指導者たちはその後、どうしましたか？ ○をつけてね。

- ◆ イエス様^{さま}を^{しん}信じた
- ◆ イエス様^{さま}を^{しん}信じなかった
- ◆ ステパノと仲^{なか}よくした
- ◆ ステパノを^{つか}捕まえて^{ころ}殺した



- ② ユダヤの指導者^{しどうしゃ}たちはイライラしていましたが、ステパノはどうだったでしょう？ ○をつけてね。

- ★ 「捕^{つか}まえられて最^{さい}悪^{あく}だ！」と思^{おも}っていた。
- ★ イエス様^{さま}がいっしょ^{あんしん}なので、安^{あん}心^{しん}していた。
- ★ いっ^につ逃^だげ出^でそうか^{かんが}と考^{かんが}えていた。
- ★ 神^{かみ}様^{さま}の右^{みぎ}に立^たっているイエス様^{さま}を見^みていた。

- ③ ステパノは捕まえられても、石を投げつけられても、イエス様を信じ、お祈りをやめませんでした。彼が死ぬ直前にお祈りした言葉は何でしょう？
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみましょう！

使徒 7 章 60 節

2. かんがえよう！

- ① あなたは教会きょうかいに来ていることや、イエス様さまを信じていることをからかわれたり、
ばかにされたり、いじめられたことはありますか？ 【 はい / いいえ 】

- ② そんなとき、あなたは どう しますか？ ○をつけてね。

- ★ けんかする ★ 教会きょうかいに行くのをやめる ★ かくれて信しんじる
★ むしする ★ その人ひとのためにお祈いのりする ★ 信しんじるのをやめる
★ その他 ⇒ 【

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様が十字架の上でお祈りされたように、ステパノも自分を殺そうとする人のために祈りました。私のことをいじめたり、からかったりする人をイエス様によって赦すことができるように、その人のためにもお祈りすることができるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

かいしん
サウロの回心 《使徒 9章 1～19節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様の声を聞く前のサウロはどんな人だったでしょう？ ○をつけてね。

- ▲ イエス様を^{さま}信^{しん}じる人^{ひと}に^{やさ}優しくしてあげた。
- ▲ イエス様を^{さま}信^{しん}じる人^{ひと}はだれでも^{つか}捕まえた。
- ▲ たくさんの^{きょうかい}教会をこわした。



- ② サウロがダマスコへ行く途中、イエス様はサウロに何と声をかけられたでしょう？

あいている言葉^{ことば}を□からえらんで、かんせいさせましょう！

「【 】、サウロ、

なぜ【^{はくがい}】を迫害するのか。」

「わたしは、【 】が迫害している」

【 】である。」

わたし
あなた
サウロ
イエス

- ③ 主はサウロのことを怖がっていたアナニヤに、サウロが何をしていると言われたでしょう？

きょうのみ^{ことば}言葉をおぼえながら^か書いてみよう！



使徒 9 章 11 節

- ④ アナニヤは主の言われたとおりに、サウロの目に手を置いてあげました。

その後、サウロはどうなったでしょう？ ○をつけてね。

- | | |
|--|--|
| ★ 目が ^め 見え ^み なくな ^な った | ★ 目が ^め 見え ^み るようにな ^な った |
| ★ イエス ^{イエス} 様 ^{さま} を ^を 信 ^{しん} じ ^じ た | ★ イエス ^{イエス} 様 ^{さま} の ^の 悪 ^{わる} 口 ^{くち} を ^を 言 ^い っ ^た |
| ★ 食 ^{しょく} 事 ^じ を ^を し ^し て元 ^{げん} 気 ^き にな ^な った | ★ バプテスマ ^{バプテスマ} を受 ^う け ^け た |

2. かんがえよう！

- ① あなたは、イエス様のことを知る前や信じる前は、どんな人でしたか？

- ◆ けんか^す好き ◆ わがまま ◆ いじわる ◆ うそつき
◆ その他⇒ 【

- ② そんなあなたでも、イエス様によって変わることができます！ パウロのようにね！
あなたはそれを信じることができますか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様を苦しめていたパウロを変えてくださったように、罪深い私をつくり変えてください。イエス様を心から信じて、イエス様といっしょに歩む者になしてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

かみさま
神様のひろ～い^{こころ}心 《使徒^{しと} 10^{しやう}章9～22^{せつ}節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① おなか^いがすいていたペテロは、お祈りの時間^{じかん}にうっとり夢^{ゆめ}ごこちになりました。いろんな動物^{どうぶつ}たちを「食べなさい」と言^いわれた時^{とき}、ペテロはなんと答^{こた}えたでしょう？ ○をつけてね。
- ◆ 「主^{しゅ}よ。いただきます！」
- ◆ 「主^{おも}よ。それはできません！」

- ② そんなペテロに対して、どんな声^{こえ}が聞こえてきましたか？
 きょうのみ^{ことば}言葉をおぼえながら書^かいてみよう！



使徒 10^{しやう}章 15^{せつ}節

- ③ ゆめ 夢からさめたペテロのところに、異邦人である百人隊長コルネリオの使いがやってきて、
自分たちの家に招きました。ペテロはその後、どうしたでしょう？ ○をつけてね。
- ★ 「異邦人の家には行けない！」と、ことわった。
- ★ イエス様のことを伝えて、彼らだけを帰らせた。
- ★ 神様の願っていることだと信じて、彼らについて行った。

2. かんがえよう！

- ① ペテロはどんな人だったかな？ ○をつけてね。
- ▲ 神様の言われることよりも、律法をきちんと守る人
- ▲ 神様の言われることを聞いて、そのとおりにしない人
- ▲ 神様の言われることを聞いて、そのとおりに 行 う人
- ② 神様はどんなお方でしょう？ ○をつけてね。
- ★ ユダヤ人だけを大切に
- ★ 心 がせまくて、いじわる
- ★ ユダヤ人も異邦人も大切に
- ★ 心 がひろくて、やさしい

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。心^{こころ}がととてもひろくてやさしい神様^{かみさま}は、異邦人^{いほうじん}である私^{わたし}のことも大切に^{たいせつ}して
くださることをありがとうございます。よいことと、悪いこと^{わるいこと}を自分で決めるのではなく、神様^{かみさま}
の言われることをしっかりと聞いて、信じて、そのとおりに行^{おこな}うことができるように助けて^{たす}
ください。イエス様のお名前^{なまえ}によって、お祈り^{いの}します。アーメン。

おどろくばかりの恵み^{めぐ} 《使徒^{しと} 10章^{しやう} 34~48節^{せつ}》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ペテロは百人隊長^{ひやくにんたいちやう} コルネリオ^{いへい}の家^いに行^いって、どんなことがはっきりと分^わかりましたか？

あいている言葉^{ことば}を□からえらんで、かんせいさせましょう！

「神様^{かみさま}は【 】を区別^{くべつ}することなく、

どこの【 】の人^{ひと}であっても、【 】を

大切^{たいせつ}にして、【 】を行^{おこな}う人^{ひと}なら

受けいれてくれることが分^わかりました。

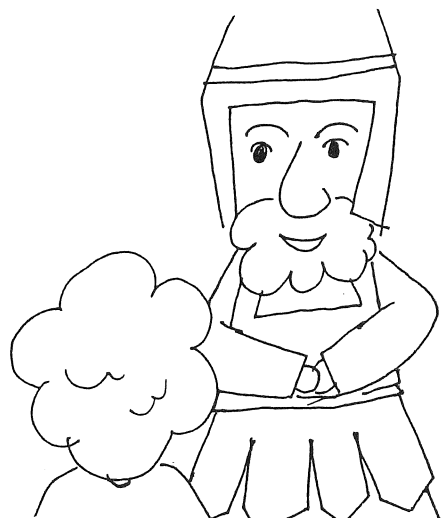
【 】はすべての人^{ひと}の【 】です。」

- ② イエス様^{イエスさま}を信^{しん}じる人^{ひと}は、何^{なに}を受^うけることができるのでしょうか？

きょうのみ言葉^{ことば}をおぼえながら書^かいてみよう！

使徒^{しと} 10章^{しやう} 43節^{せつ}

主^{しゅ}
に
国^{くに}
かみさま
神様^{しん}
にんげん
人間^{にんげん}
ただ
正しいこと
イエス・キリスト



- ③ み言葉^{ことば}を聞^きいていたすべての人^{ひと}に起^おきたハプニングは何^{なん}でしょう？ ○をつけてね。

★ ペテロに聖霊^{せいれい}が与^{あた}えられた

★ 異邦人^{いほうじん}にも聖霊^{せいれい}が与^{あた}えられた

★ ユダヤ人^{じん}に聖霊^{せいれい}が与^{あた}えられた

★ 異邦人^{いほうじん}には聖霊^{せいれい}が与^{あた}えられなかった

- ④ 聖霊^{せいれい}を受^うけた異邦人^{いほうじん}はその後^{あと}、何^{なに}をしましたか？ あいているところに名前^{なまえ}をいれてね。

【 】の名^なによって、洗礼^{せんれい}を受^うけた。

2. かんがえよう！

- ① 神様^{かみさま}の救^{すく}いの恵^{めぐ}みはどんな人^{ひと}に与^{あた}えられていますか？ ○をつけてね。

◆ ユダヤ人^{じん}だけ

◆ 異邦人^{いほうじん}だけ

◆ 教会^{きやうかい}に來^きている人^{ひと}だけ

◆ 日本人^{にほんじん}だけ

◆ 全世界^{ぜんせかい}の人^{ひと}

◆ 聖書^{せいしよ}を讀^よんでいる人^{ひと}だけ

- ② あなたはユダヤ人^{じん}ですか？ 異邦人^{いほうじん}ですか？ 【 ユダヤ人^{じん} / 異邦人^{いほうじん} 】

- ③ あなたは神様^{かみさま}の救^{すく}いの恵^{めぐ}みに入れられていますか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈^{いの}りしよう！ 》

天^{てん}のおとうさま。異邦人^{いほうじん}の私^{わたし}でも救^{すく}いに入^いれていただけること、イエス様^{イエスさま}を信^{しん}じるだけで私^{わたし}の罪^{つみ}が赦^{ゆる}されること、聖霊^{せいれい}をいただけること、この恵^{めぐ}みをありがとうございます。イエス様^{イエスさま}のお名前^{なまえ}によって、お祈^{いの}りします。アーメン。

いのちから お祈りの力

《使徒 12章 1～17節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ヘロデ王は教会の人々を苦しめようと思い、ペテロをどうしましたか？ ○をつけてね。

▲ 剣で殺した

▲ 捕まえて牢に閉じ込めた

- ② その時、教会の人たちは何をしていましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 12章 5節



- ③ み使いがペテロのもとへ現れて、ペテロはどうしたでしょう？ ○をつけてね。

◆ こわいので牢にのこった

◆ マルコの母マリヤの家に行った

◆ み使いと一緒に牢の外に出た

◆ だれもいない遠い山へ逃げた

- ④ ペテロが家に来た時のそれぞれの様子を線で結びましょう。

□ ダ

★

きょうかい

教会の人たち

★

★ ペテロが外にいることをすぐ信じなかった

★ ペテロの声だとすぐわかった

★ ペテロのみ使いだと思った

★ 喜びのあまりドアを開けるのを忘れた

★ お祈りがきかれておどろいた

2. かんがえよう！

- ① 神様はあなたのお祈りをきいてくださると信じていますか？ 【 はい / いいえ 】

- ② 教会のみんなと心をあわせてお祈りしたことはありますか？ 【 はい / いいえ 】

- ③ お祈りがかなったことはありますか？ 【 はい / いいえ 】

- ④ その時は、どんな気持ちでしたか？ ○をつけてね。

★ 「うそ!? 信じられない!」

★ 「神様、ありがとう!!」

★ 「運命だったんだ。」

★ 「祈りをきいてくれる神様はすごい!」

★ その他 ⇒ 【

】

《 お祈りしよう! 》

天のおとうさま。いつも私たちのお祈りをきいてくださることをありがとうございます。

どんな時でも疑わず、信じて祈り続けることができるように助けてください。祈っているこ

とが実現したとき、素直に神様に感謝をささげて、受けとることができますように。イエス様

のお名前によって、お祈りします。アーメン。

まことの神様に帰ろう 《使徒 14章8～18節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様のことを伝えるために、ルステラに出かけていったのはだれとだれですか？
あいている文字をうめてね。

○ ウ ○
バ ○ ナ ○



- ② パウロたちの話を聞いて、イエス様のことを信じた人に奇跡がおきました。
だれに、どんな奇跡が起こったのでしょうか？ ○をつけてね。
- ▲ 生まれつき手の動かない人の手が、動くようになった
 - ▲ 生まれつき足の動かない人の足が、動くようになった
- ③ それを見ていた群衆は、ふたりをどんな風に思ってしまったのでしょうか？ ○をつけてね。
- ◆ 神様 ◆ ゼウス神 ◆ 「この町から追い出さなくちゃ！」
 - ◆ 医者 ◆ ヘルメス神 ◆ 「神様として礼拝しよう！」
- ④ 群衆の様子を見ていたふたりは服を切り裂き、何を群衆にうったえたでしょう？
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 14章15節

2. かんがえよう！

- ① あなたは神様を信じていますか？ 【 はい / いいえ 】
- ② 本当の神様はどんなお方かな？ ○をつけましょう。
- | | | | |
|-----------|--------|-------|------------|
| ★ 人間が作った神 | ★ 死んだ人 | ★ お守り | ★ スポーツ選手 |
| ★ 人間を造った神 | ★ 大仏 | ★ キツネ | ★ 天地を造られた神 |
| ★ 占い師 | ★ ワニ | ★ 偉い人 | ★ 芸能人 |
- ③ 本当の神様ではないものを神様と思ったことや、礼拝してしまったことはありますか？
【 はい / いいえ 】
- ④ ③で、正直に「はい」と答えた人は、本当の神様に「ごめんなさい」とお祈りしましょう。

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。本当の神様ではないものを神様としたり、礼拝したり、大切にしたりしてごめんなさい。この罪のためにイエス様が十字架にかかってくださったことを信じます。これからは、本当の神様だけを信じつづけることができるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

いま、**信**じます

《使徒 16章 16～34節》

1. つぎのしつもんにとたえよう。

- ① 牢屋^{ろうや}の中で、パウロとシラス、また、他の人^{ほかひと}は何をしていましたか？

あいている言葉^{ことば}を□からえらんで、かんせいさせましょう！

パウロとシラスは【 】に【 】しながら、

【 】していた。

他の囚人^{ほかしゅうじん}たちはそれを【 】いた。

獄吏^{こくりに}（看守^{かんしゅ}）はパウロたちを【 】いた。

いの
お祈り
き
聞いて
かみさま
神様
み
見張って
さんび
賛美

- ② 大地震^{おおじしん}が起きた時^{とき}、牢屋^{ろうや}にいた人^{ひと}たちはどうしたでしょう？ 線^{せん}でむすんでね。

パウロとシラス ▲

▼ 死^しのうとした

他の囚人^{ほかしゅうじん}たち ▲

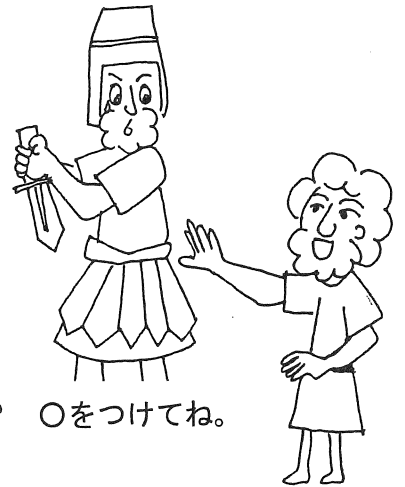
▼ 逃^にげた

獄吏^{こくりに}（看守^{かんしゅ}） ▲

▼ 逃^にげなかった

- ③ 獄吏^{こくりに}（看守^{かんしゅ}）はパウロに、「救^{すく}われるためには何^{なに}をしなければなりませんか？」としつもんします。パウロは何^{なん}とこたえたでしょう？ おぼえながら書^かいてみよう！

し と 16章 31節
使徒 16章 31節



2. かんがえよう！

- ① どうして、パウロは女奴隷^{おんなどれい}から占^{うらな}いの霊^{れい}を追い出したのでしょうか？ ○をつけてね。

★ 占^{うらな}いでお金^{かね}もうけしたかったから。

★ 神様^{かみさま}が占^{うらな}いをきらいなのを知^しっていたから。

- ② 苦^{くる}しいことやつらいことがあった時^{とき}、あなたならどうしますか？

◆ もんくを言^いう ◆ 占^{うらな}いをする ◆ 賛美^{さんび}する

◆ 神様^{かみさま}にお祈^{いの}りする ◆ 聖書^{せいしょ}をよむ ◆ しかえしをする

◆ その他【 】

- ③ あなたが救^{すく}われ、あなたの家族^{かぞく}が救^{すく}われるためには何^{なに}をしたらよいでしょう？

【 】

《 お祈^{いの}りしよう！ 》

天^{てん}のおとうさま。イエス様が私^{わたし}の罪^{つみ}の身代わり^{みが}に十字架^{じゅうじか}にかかって死^しんでくださったことを信^{しん}じるだけで、私^{わたし}も、私^{わたし}の家族^{かぞく}も救^{すく}われることをありがとうございます。パウロのように、どんなことがあっても、イエス様^{イエスさま}を信^{しん}じて、神様^{かみさま}にお祈^{いの}りしたり、賛美^{さんび}したりできますように。イエス様^{イエスさま}のお名前^{なまえ}によって、お祈^{いの}りします。アーメン。

かみさまめ み 神様は目には見えない 《使徒 17章 16～34節》

1. きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 17章 28節

2. つぎのしつもんにこたえよう。

① パウロはアテネの町に何がたくさんあるのを見て、怒りがこみあげてきたのでしょうか？

○をつけてね。

▲ 教会 ▲ 学校 ▲ 偶像

② パウロはアテネの人々に何を話しましたか？

あいている言葉を□からえらんで、かんせいさせましょう！

◆【 】の神様のこと。

◆【 】と復活のこと。

ほんとう にせもの
イエス様 偶像

③ パウロは人々に、本当の神様とはどんなお方だと教えましたか？

あっているものに○をつけてね。

- ★ 全世界を造られたお方です。
- ★ 人間に作ってもらいます。
- ★ 建物の中に住んでいます。
- ★ いつも近くにいてくれます。
- ★ 求めるなら、神様のことがわかります。
- ★ 目に見えないので、わかりません。
- ★ 金や銀や石でできています。
- ★ 神様がすべてを治めておられます。
- ★ イエス様をよみがえらせてくださいました。
- ★ 私たちに悔い改めを命じておられます。



3. かんがえよう！

① あなたは偶像を拝んだことがありますか？ 【 はい / いいえ 】

② 本当の神様のことをもっと知りたいですか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。偶像を拝んでごめんなさい。あなた（神様）やイエス様のことをもっと知ることができるよう。そして、私だけでなく、家族や友だちにも本当の神様のことを伝えることができるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

イエス様^{さま}が味方^{みかた} 《使徒^{しと} 18章^{しょう} 1～11節^{せつ}》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① パウロがコリントへ行った時、お手伝いしてくれた人はだれでしょう？
あいている文字をうめてね。



ア ○ ラ
プ ○ ス ○ ラ

- ② シラスとテモテがコリントへ来てから、パウロは何をしましたか？○をつけてね。

- ◆ てんまくつく ほうほう おし
天幕作りの方法を教えた
- ◆ かみさま ひとびと つた
神様のみことばを人々に伝えた
- ◆ いえすさま ひとびと つた
イエス様のことを人々に伝えた

- ③ コリントの町でも、パウロにいやがらせをする人がたくさんいました。しかし、イエス様を信じる人々たちもいました。きょうの聖書に出てきたイエス様を信じた人たちの名前を下からえらんで○をつけましょう。

- ★ テオオ・ユスト ★ クリスポ
★ テテオ・ユスト ★ クリスピ



- ④ パウロは嫌がらせをされて、元気をなくしていたその時！ 神様はどんなみ言葉でパウロに
勇気を与えてくれたでしょう？ きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 18^{しょう}章 10^{せつ}節

2. かんがえよう！

- ① あなたが元気でなくなるのはどんな時？ いじわるされたり、けんかしたり、病気の時？

- ② その時、あなたを元気づけてくれたり、はげましてくれるのはだれかな？

- ③ 神様はみ言葉によってあなたをはげましてくれて、元気や勇気を与えてくださるよ！
もう一度、きょうのみ言葉をおぼえながら、大きな声で読んでみよう！

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。いつでも私といっしょにいてくれて、元氣や勇氣を与えてくださることを
ありがとうございます。どんなときでも神様のみ言葉を思い出して、光の子らしく元氣に歩め
ますように。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

イエス様の力

《使徒 19章 11~22節》

1. きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 19章 20節

2. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様はパウロをとおして、たくさんのおどろくような奇跡を行われました。人々がパウロの身につけていたものをさわったとき、どんなことが起きたでしょう？ ○をつけてね。

- ◆ 病気になった ◆ 悪霊が出て行った
◆ 病気がなおった ◆ 悪霊におそわれた

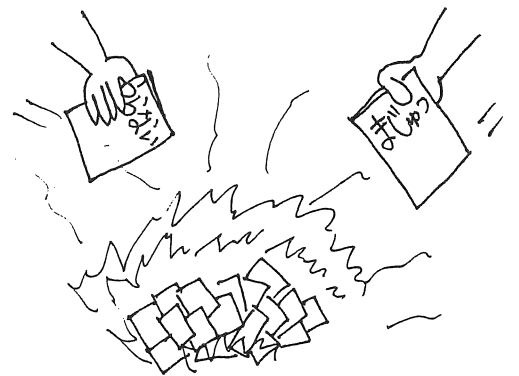
- ② スケワの7人の息子たちはパウロのまねをしたのですが、悪霊におそわれてしまいました。それはどうしてでしょう？ あいている言葉を□からえらんで、かんせいさせましょう！

【 】を信じていないのに、
ただまねをするだけの【 】気持ちで
イエス様の【 】を使ったから。

悪霊 イエス様 パウロ
なまえ ふざけた

- ③ エペソの人々はその後どうしたでしょう？ ○をつけてね。

- ★ パウロを神様だと信じた
★ イエス様を信じた
★ イエス様のおなまえを大切に使った
★ 魔術をしていたことを神様に告白した
★ 魔術の本を買いあさった
★ もっていた魔術の本を全部焼いた



3. かんがえよう！

- ① あなたは占いや魔術がすきですか？ きらいですか？ 【 すき / きらい 】

- ② それはどうして？ 【 】

- ③ 神様は占いや魔術がすきですか？ きらいですか？ 【 すき / きらい 】

- ④ あなたが悪魔に勝つにはどうしたらよいでしょう？ ○をつけてね。

- ▲ 自分が悪魔とたたかう ▲ お守りを持つ ▲ イエス様に守ってもらう

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様のお名前にすばらしい力があるのに、今まで、占いや魔術を信じていてごめんなさい。私が悪魔にまどわされないで、心からイエス様を信じつづけることができるように守ってください。イエス様のお名前によって、お祈ります。アーメン。

ワーク B 解説 7~9月

7/2

●質問1 生まれつき足の動かない男は、神殿の美しの門で施しを求めています。ペテロは彼に、金銀よりもすばらしいイエス様の名によって祈りました。すると、その男の足が動くようになったばかりか、神様を賛美する人へと変えられました。

●質問2 男の足が動くようになったのは、ペテロのおかげではなく、ペテロの信じていたイエス様のお名前に、奇跡を起こす力があったからです。私たちはどんな心で教会にきているか、イエス様を伝えるときに重要なことは何かを、子どもたちと共に再点検させていただきます。

7/9

●質問1 生まれつき足の動かない男が歩けるようになったのは、イエス様のお名前によることを確認しましょう。ペテロたちはイエス様のことを宣べ伝えることを禁じられてもやめませんでした。それは、人に従うよりも神様に従うことの方が正しいと判断したからです。私たちも、目の前にあることが神様からでていることなのかどうか、日々の祈りとみ言葉を通して、主から正しく判断する力をいただきましょう。

●質問2 日々の生活の中で、私たちは何を一番大切にしているか、教師も子どもたちと共に主の前に静まり、思い巡らしてみましょう。救いを与えることができるのはイエス様以外にないことを再確認して信じ、神様を第一にして歩みましょう。

7/16

●質問1 バルナバは売った畑の代金全部を喜んで献げましたが、アナニヤとサッピラはそれをごまかしました。ペテロは彼らのごまかしを見抜き、戒めました。彼らは悔い改めのチャンスが与えられたにもかかわらず、それを逃し、神様の裁きを受け、死んでしまいました。

●質問2 バルナバは神様のため、教会のために喜んで献げましたが、アナニヤとサッピラは違いました。私たちも、人間をだますことはできても、すべてをご存知であられる神様をだますことはできません。神様はイエス様の十字架のゆえに、私たちの罪を赦してくださいますから、神様の前に正直に告白し、悔い改め、イエス様の十字架は私の罪のためだったと信じて歩みましょう。

7/23

●質問1 御霊と知恵とに満ちたステパノは人に気に入られるようなことではなく、最後の最後まで、神様のみ言葉を真っすぐに、忠実に、誠実に宣べ伝えました。それを聞いたユダヤの指導者たちはイエス様を信じないで、かえって激怒し、彼を死へと追いやってしまいました。イエス様が十字架上で祈られたように、ステパノは死を前にして、命が助かることよりも、自分を殺そうとする人々のためにとりなしの祈りをささげました。

●質問2 教会学校に来ている子どもの中にも、家族や友人などから迫害を受けている子どもがいるかもしれません。その子どもと共に祈りの時をもち、まず教師が迫害を受けている子どものため、その子どもを苦しめる人のために祈りましょう。強制ではなく、迫害されている子どもが心の叫びを真実に祈れるように導きましょう。

7/30

- 質問1 イエス様に会おう前のサウロはとても凶暴で、クリスチャンを迫害していました。しかし、ダマスコへの途中でイエス様の声を聞き、神様がアナニヤを通してパウロの目をいやされてからはまったく変わりました。クリスチャンたちと仲良く交わるようになり、イエス様を信じ、バプテスマを受けました。
- 質問2 私たちにも自分では変えることのできない罪深さがあります。しかし、その罪を正直に神様に告白し、イエス様がその罪のために十字架にかかって死んでくださったことを信じるだけで、神様が私たちをきよめつづけてくださいます(第1ヨハネ1章5～10節)。そのことを信じて、イエス様と共に歩みましょう。

8/6

- 質問1 空腹を覚えたペテロは、祈りの時間にうっとり夢心地になり、主からの声を聞きました。律法を厳格に守っていたペテロは、その声を一度は断りました。しかし、3度も同じことがあり、目が覚めてからも、そのことを思い巡らしました。コルネリオの使いがやって来た時、ペテロは主の導きだと信じ、彼らの要望を受け入れました。私たちもすぐには、主の導きだと信じるのができないかもしれませんが、主のみ言葉をいつも心に留め、思い巡らすことはとても大切です。それは主のみ心を知る近道でもあります。
- 質問2 神様は心がとてもひろくて、優しく差別をなさらないお方です。私たちは人間の基準で判断したり、決めつけたりするのではなく、主にあって、神様の言われることをしっかりと聞き、忠実に行う者とならせていただきます。

8/13

- 質問1 ペテロは百人隊長コルネリオの家に到着し、話をしているうちに、神様のみ心を明確に悟ることができました。神様は人を偏り見ず、どこの国の人であっても神様を畏れ敬う者を受け入れてくださり、キリストの名による罪の赦しを与えてくださるお方です。神様は分け隔てなく、主のみ言葉を聞いていたすべての人に聖霊を与えてくださり、受洗の恵みにあずかせてくださいました。
- 質問2 神様はイエス様によって、ユダヤ人だけでなく、異邦人である私たち日本人をはじめ、全世界の人々を救いへと招いてくださっています。その恵みを心から感謝し、祈りましょう。

8/20

- 質問1 ヘロデ王は人間の力や権力で、教会を苦しめようとしていました。しかし、神様の力は偉大で、教会の人々の祈りにも応えてくださり、人知を超えた方法でペテロを牢から救い出してくださいました。マルコの母マリヤの家に集まっていた人々は、ペテロのことを祈っていましたが、その祈りが実現したにもかかわらず、 Rodgers 以外の人はそれをすぐに信じ受け入れることができませんでした。
- 質問2 私たちは日々、生きておられる神様が祈りをきいてくださることを信じて祈りつづけましょう。ひとりで祈ることも幸いですが、教会のみんなと心をあわせて祈ることは共にその恵みにあずかることが出来るのでとても素晴らしいことです。祈りがきかれたとき、恵みを受けたとき、素直に神様に感謝して受けとりましょう。

8/27

- 質問1 パウロとバルナバはイエス様のことを伝えるために、ルステラに出かけていきました。生まれつき足の動かない人と出会い、彼の信仰を見て立つように命じると、彼は歩けるようになりました。それを見ていた群衆は、二人をゼウス神やヘルメス神と誤解し、神様として礼拝しようとしてしまいます。しかし、二人は自分がほめたたえられたり、神として崇められたりすることを拒絶し、彼らに天地創造主なる生けるまことの神様に立ち帰るようにと訴えました。そして二人は、偶像として崇められる罪から守られました。
- 質問2 私たちの周りでも、まことの神様以外のものが神として崇められていることは、とても悲しいことです。子どもたちも気づかないうちにそのような状況の中に置かれ、偶像礼拝をしてしまっています。イエス様の十字架はその罪のためであることを信じて、正直に罪を告白し、まことの神様に立ち帰ることができるように導きましょう。

9/3

- 質問1 パウロとシラスは牢屋^{ろうや}の中に入れられても、神様に祈り、賛美を歌い続けました。大地震が起きても、彼らは逃げませんでした。そのことがきっかけで、獄吏は心を開いて救いを求め、イエス様を信じました。また、彼の家族も救われました。獄吏の質問に対するパウロの答えは今日の暗唱聖句です。聖書を開いて読み、完成させて覚えましょう。
- 質問2 神様が占いを禁じられていることを知しましょう。苦しいことがあったとしても、神様を信じて祈り続け、聖書を読み、賛美しつづけましょう。イエス様を救い主と信じるだけで救われるとは、なんとという幸いでしょう。その喜びを子どもたちと共に味わい、主に感謝しましょう。

9/10

- 質問1 聖書を開いて読み、今日のみ言葉を完成させて、覚えましょう。
- 質問2 パウロはアテネにあるたくさんの偶像を見て憤り、真の神様を伝えるべきだと心の迫りを感じました。そして、人々の宗教心を責めずに認めて、彼らの知性や理性にも分かりやすい様に、神様のことを伝えていきました。
- 質問3 私たちの身の回りにも偶像がたくさんあり、子どもたちは偶像崇拜の危険にさらされています。本当の神様と偶像の違いを明確に知り、家族や友だちにも伝えましょう。

9/17

- 質問1 アクラとプリスキラ、シラスとテモテの支援があつてこそ、パウロは福音宣教に専念することができました。ユダヤ人らの暴言で、パウロも意気消沈することがありましたが、神様が励ましのみ言葉を与えてくださり、再び勇気を与えられ、1年半もコリントに留まることが出来ました。そのみ言葉を完成させて、覚えましょう。
- 質問2 私たちも日々の生活の中で、元気がなくなることが多くあります。しかし、家族や友だち、教会の仲間がいること、そしてなによりも、どんな時でも共にいてくださり、いつでもみ言葉を通して励ましを与えてくださる神様がいることを覚え、心からの感謝をささげましょう。

9/24

- 質問1 聖書を開いて読み、今日のみ言葉を完成させて、覚えましょう。
- 質問2 奇跡を目の当たりにすると、それを行った人に心を奪われやすいものですが、神様から目を離さないことを忘れないように気をつけましょう。主の御名をみだりに唱えてはならない（出エジプト20：7）というみ言葉は真実です。魔術などを試^{ため}してみることがあっても、神様はイエス様の十字架によって赦^{ゆる}してくださいますから、素直に告白してそれをやめ、ぜんぶ捨てましょう。
- 質問3 魔術や占いが神様の嫌われることだと知り、やめるように促しましょう。また、悪魔に勝利するために、自分やお守りなどの力に頼るのではなく、すでに勝利されているイエス様により頼みましょう。